

テーマ：こどもの育ちを支える視点と連携

「就園・就学」のその先へ！

～みんなで繋ぐ、医療的ケア児の「育ち」と「未来」のバトン～

医療的ケア児支援法は、今後、支援対象が成人期まで拡大される見通しとなっています。その一方で、質の高い移行支援を実現するためには、その土台となる「こども期の豊かな育ち」が欠かせません。本研修では、あらためて“こどもを大切にす支援”の原点に立ち返り、医療的ケア児者の成長や暮らしを次のライフステージへつなぐために必要な視点を学び合います。一人ひとりの可能性や権利を大切にす支援のあり方を、北海道・東北ブロックの仲間とともに考える機会とします。

2026年6月12日 金 13:00-16:30

内容：リレートーク

「私たちが大切にすこどもの育ちと暮らしのストーリー」

話題提供者

秋田県 大仙市基幹相談支援センター かのん 安藤拓哉氏

(医療的ケア児等コーディネーター・主任相談支援専門員)

宮城県 ゆんたく訪問看護ステーション 菅原絵理氏

(医療的ケア児等コーディネーター・看護師)

グループワーク

「こどもの育ちを支える私たちの視点とバトンの渡し方」

場所：やはぱーく (矢巾町活動交流センター)

岩手県紫波郡矢巾町駅東一丁目12番1号

定員：60名

対象：医療的ケア児等コーディネーター支援協会会員

医療的ケア児支援センター職員、関係者

医療的ケア児支援に関心のある支援者、(本人・保護者等)

参加費：当協会会員の方 無料

当協会非会員の方 3,000円

申込み：当協会会員の方

現地参加の方のみマイページよりご登録ください

当協会非会員の方

右記QRコードよりお申込みください

一般社団法人医療的ケア児等コーディネーター支援協会

〒277-0861 千葉県柏市高田すくすくハウス内

〔お問い合わせ・詳細等はこちらから〕 info@iryoutekikea.net

地域を
超えて、
つながり
学ぶ



What's 医療的ケア児等コーディネーター支援協会

2021年9月に医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律が施行されました。法施行により、潜在化していた様々な医療的ケア児の「育ちの支援」と「家族支援」の課題が浮き彫りになり、地域で様々な議論がなされていることと思います。全国で活躍されている医療的ケア児等コーディネーターや多職種で構成される支援者の皆様、医療的ケア児支援センターを運営されている皆様におかれましては、「我が地域で、子どもと家族の在りたい生活をどのようにアセスメントし支援をしていくのか」「その為に地域を創る支援者の養成や連携をどのように展開していくのか」という事について、大きな課題意識をお持ちではないでしょうか。当協会はこのような課題を支援者の皆様をはじめ全国の仲間と共考し、これからの医療的ケア児者への支援を様々な角度から共に学ぶ場の創出、全国規模でタイムリーに情報を共有する機会の必要性を強く感じた仲間と設立いたしました。これまで地域でそれぞれ頑張っていた皆さんの横つながりを創り、地域での支援活動にお役に立てればと思っております。

当協会では、この課題意識に共感していただける共に「学ぶ」「つながる」「相談できる」仲間を募集しております。会員になっていただいた皆様には、先行して研修開催のお知らせ、研修参加費の割引を行います。又、既にご相談いただいておりますが、研修講師の派遣やコンサルテーションなどについても、今後実施していく予定です。当協会にご関心をお持ちいただけましたら、ぜひ協会会員になっていただき、共に医療的ケア児支援から始まる、子ども支援や地域創りを皆さんで考えていきましょう。

医療的ケア児等コーディネーター支援協会 会長 遠山 裕湖
(宮城県医療的ケア児等相談支援センターちるかあ)

個人会員	6,000円
行政会員	10,000円
支援センター会員	10,000円
法人会員	10,000円

入会はこちらから



Scan Me!

【医療的ケアのあるお友達のことを伝える紙芝居】

難しい言葉ではなく、子ども達に届く言葉で語られるこの紙芝居が、子ども達が必要なケアに関わらず、出会い、仲良くなっていく懸け橋になれることを願い、紙芝居を作成しました。ぜひ、日々の支援にお役立てください。

ご購入はこちらから→

